

# DIGEST 平成29年 3月定例会の結果

議員数=21名 表決参加議員数=21名 \*議長は表決には加わりません。  
赤字=議員が提出した議案 その他=市長提出議案

〈2月20日～3月24日/会期33日間〉

3月定例会には市長提出議案43件が提出されました。また、委員会提出議案2件についても審議しました。

## 議案第8号 平成29年度三田市一般会計予算について

平成29年度三田市一般会計予算の総額を376億1,300万円と定めようとするもの。



反 対 可 決 に 賛 成

【日本共産党三田市議団】  
長谷川、國永、長尾

【新政みらい】厚地、田中、佐貴、北本、中田  
【盟政会】今北、福田、森本、幸田、白井  
【公明党】松岡、大西  
【市民の会】檜田、美藤、佐々木  
【日本維新の会三田市議会議員団】多宮、小山  
【無党派】小杉

### 議案第8号反対討論

マイナンバー制度について、市はコンビニ交付事業に続き、その利用を促進、拡大する方針であるが、他市や民間等ではマイナンバーの流出や紛失などの問題が起こっている状況である。市民の個人情報を守らなければならない市が、マイナンバーの利用を促進、拡大することになる予算付けが含まれるこの議案に反対。

また、解放学級事業について、同和問題に特化し特定の地域に限定して事業を行っているが、地域の自主性に委ねるべきであり、地域を限定せず広く人権を守る学習を進めていくことが大切であるため、解放学級事業の予算付けが含まれるこの議案に反対。

(日本共産党三田市議団 長谷川 美樹)

### 議案第8号賛成討論

今回の予算は、普通交付税などが大幅に減少する厳しい財政環境の中で、これまでの事業を継続しつつ、新たな事業として、創業支援事業、三田牛出荷奨励事業の拡大、学校設備の充実、里山保全、総合福祉保健センター利用料金の見直し、防犯カメラの設置、がん対策など多種多様な取り組みが予定されており、高く評価できる。

高齢者運賃助成事業については、平成28年度からタクシーや神姫バスICカードへの利用が拡大し、また図書館の管理運営については、視覚障害者対応や読書通帳システムの導入など先進的なサービスが導入されており、今後も市民サービスの向上が期待できる。

(新政みらい 厚地 弘行)

### 全議員が賛成した議案等(可決、同意)

予 算 平成28年度一般会計補正予算(第5号) など 6件

条 例 三田市市税条例等の一部を改正する条例の制定について など 7件

その他 三田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について  
債権の放棄について など 4件  
人事案件4件

議会内容等の詳細は、  
三田市議会  
ホームページの  
「審議予定・結果」  
をご覧ください。

## 議案第23号 三田市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、当該条例の一部を改正しようとするもの



反 対 可 決 に 賛 成

【日本共産党三田市議団】  
長谷川、國永、長尾

【新政みらい】厚地、田中、佐貴、北本、中田  
【盟政会】今北、福田、森本、幸田、白井  
【公明党】松岡、大西  
【市民の会】檜田、美藤、佐々木  
【日本維新の会三田市議会議員団】多宮、小山  
【無党派】小杉

### 議案第23号反対討論

この議案については、マイナンバー法が施行されたことに伴い、地方公共団体が行う事務について情報提供ネットワークシステムを利用した情報連携を可能にするための条例改正だが、マイナンバー制度における情報管理は技術的なセキュリティが必ずしも万全ではなく、人為的なミスによる個人番号や情報が漏えいする危険性が大いにある。

以上のことからこの議案に反対。

(日本共産党三田市議団 長谷川 美樹)

### 議案第23号賛成討論

マイナンバー制度は、国民の利便性の向上、行政の効率化、公平・公正な社会を実現するために国策として実施されたものである。

個人情報の取り扱いについては、制度面とシステム面から個人情報を保護するために国が様々な措置を講じてきたと理解しており、この議案に賛同する。

(新政みらい 厚地 弘行)

## 議案第25号 三田市老人等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

兵庫県の老人医療費助成事業の廃止及び高齢期移行助成事業の創設に伴い、当該条例の一部を改正しようとするもの。



反 対 可 決 に 賛 成

【日本共産党三田市議団】  
長谷川、國永、長尾

【新政みらい】厚地、田中、佐貴、北本、中田  
【盟政会】今北、福田、森本、幸田、白井  
【公明党】松岡、大西  
【市民の会】檜田、美藤、佐々木  
【日本維新の会三田市議会議員団】多宮、小山  
【無党派】小杉

### 議案第25号反対討論

この制度は、住民税非課税世帯等の生活が苦しい方々が対象だったが、「高齢者の定義の変更」や「対象年齢の人口減」、「就業者の増加」などを理由として廃止しようとするものであるが、低所得者の現実的な生活実態を反映しておらず、納得できない。

新制度への移行については、要介護2以上であるという制限をかけるものであり、弱者を切り捨てることになる。兵庫県の制度だが、市との共同事業であることから、市は責任を持って医療費助成を継続するべきであり、この議案に反対。

(日本共産党三田市議団 長谷川 美樹)

### 議案第25号賛成討論

兵庫県の最終2ヶ年の行革プランで老人医療費助成事業が廃止され、新たに高齢期移行助成事業が創設されることに伴い条例が改正されるものだが、介護の程度によって条件を満たす方には、新たに高齢者移行助成事業を設けることや、経過措置として70歳になるまで現行の助成が継続されるなど、負担増にならないよう配慮もされており、この議案に賛同する。

(新政みらい 厚地 弘行)